令和6年度　江戸川区立第七葛西小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	児童一人一人に真の「生き抜く力」を育む教育を目指し、「学力向上」「豊かな道徳心」「体力の向上」を焦点化し、次の４点を目標として設定する。 ・考える子　◎思いやりのある子　〇じょうぶな子　〇やり抜く子		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	〇３つの「がい（学びがい、働きがい、通わせがい）」のある学校 〇礼儀、責任、感謝の気持ちをもつ児童 〇プロ意識をもち、指導力向上に励む教師
前年度までの本校の現状	成果	・児童の表現力の向上を目指して、外国語を中心とした授業力向上に取り組んだ。その結果、全学級でICTを活用したり英語で会話したりする授業展開ができるようになった。 ・定期的に生活指導夕会や特別支援校内委員会等を実施するようになり、不登校対応、特別支援対象児童等の対応を組織的にできた。 ・若手研修、OJTを計画的に行い、若手教員の育成を推進できた。	課題	・CD層の基礎的な学力向上が課題。 ・不登校児童、特別支援対象児童の対応が課題。 ・日本語を理解できない児童、保護者の増加が課題。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	**〇授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得**	・朝学習時間、休み時間を活用した反復練習の実施 ・区学力定着度調査、CDTテストの活用 ・UDL化した問題解決学習をテーマにした教育課題実践推進校の実践	・朝学習の合計実施回数100回、全学年での反復練習機会設定 ・C層児童10%をB層へアップ ・児童アンケートで70%の児童が分かると回答											
	〇家庭学習習慣育成のための組織的な取組の実施	・放課後補習教室の実施と内容の検討 ・夏季学習教室の実施 ・ミライシードの日常的な活用、放課後補習教室の実施	・放課後補習を合計150回実施 ・夏季学習教室への各学年30%参加 ・全学級での毎日実施											
	〇読書科の更なる充実	・蔵書管理システムの運用促進 ・司書や図書ボランティアとの連携の充実化 ・読書を通じた探求的な学習の推進	・児童一人の貸出数を年間50冊以上 ・年4回の読み聞かせ会の実施 ・夏の調べる学習コンクールへの児童70%で応募											
体力の向上	**〇日常的な健康の推進に向けた取組の実施、改善、充実**	・なわとびweekの実施 ・全校歯磨き週間の設定 ・マラソン週間の実施	・各学期2週間実施 ・各学期1回ずつ設定 ・年間2回実施											
	〇運動意欲の向上に向けた取組の実施	・縄跳び大会の実施 ・外部講師による各種オリパラ特別授業の開催	・年間2回実施 ・全学年1回以上実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	**〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実**	・巡回指導や日本語指導との連携した個に応じた支援の強化 ・巡回指導教員等による特別支援研修会の開催	・毎週1回、巡回指導教員とコーディネータ、担任との打ち合わせを実施 ・年間2回実施											
	〇エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジ担当教員のシフト化の実施	・5月までに体制表作成											
	〇副籍交流の実施・充実	・副籍交流対象児童数の促進と内容の充実化	・文書交流の月1回											
不登校・いじめ対応の充実	**〇豊かな心の育成**	・校内委員会の開催 ・いじめ防止対策委員会の開催 ・異学年交流の充実化 ・道徳授業地区公開講座の実施と内容の充実化	・定例会を月1回（年間10回）開催 ・対象児童の確認次第、即日に開催 ・いじめ防止に関する授業を全学級で実施、講師による特別授業を実施											
	〇不登校対策の実施・充実	・SC、ＳＳＷとの連携強化 ・不登校対策委員会の設置	・不登校児童のSC、SSWとの連携立100%											
	〇教育相談の強化	・hyper - QU による実態把握と教職員の情報共有 ・教育相談の充実化	・7月に実施、8月に校内研修会で情報共有 ・5月までにスケジュール管理のシステム化											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	**〇学校（園）ホームページの充実等**	・ホームページによる情報発信の更なる推進	・毎日更新 ・行事ごとに特設記事をUP											
	〇学校（園）公開の実施・充実	・学校だより、学年だよりの発行と内容の充実化 ・学校公開、学校説明会の実施 ・学校関係者評価の充実化	・月1回発行回覧システムによる内容の改善と月1回の発行 ・年３回の学校公開 ・各学期1回の見直しの実施											
	〇地域人材発掘・PTA行事への参画	・地域人材の活用促進 ・PTA行事への教職員参加の促進	・学校応援団の活用 ・教員一人2回ずつの参加を徹底											
特色ある教育の展開	**〇働き方改革の推進**	・行事や会議の精選 ・育児や介護への配慮の実行 ・定時退勤日の設定と実施	・全教職員の月残業時間45時間以下 ・毎週水曜日の残業者0の実現											
	〇若手教員の育成	・日常的なＯＪＴの実施 ・若手研修会の開催	・ベテランと若手のペア分掌8割実施 ・毎週月曜日開催											